

1 ファイル の読込と保存について

1.1 ラスターイメージ形式(GIF/JPEG/PNG など)でページ毎の保存は、容易にできない

「ファイル 保存」、「ファイル 名前をつけて保存」、または「ファイル 他形式の保存」で現在表示中のページにある内容を保存しようとするときに、GIF/JPEG/PNG などのラスター系のデータ形式が選択できない。ページ単位で図面の内容を保存するには、確かに CTRL+A ですべての図形、文字枠とイメージを選択してから、「保存 画像・イメージデータで保存」もしくは「一部保存 選択図形」を選んでラスター系の出力形式は選択できるようになる。が、この方法でも、「一部保存 ページ」の保存オプションには、ラスター系のファイル 形式が選べない。保存形式オプションの統一性と使い勝手を、改善して頂きたい。

1.2 花子が読込できるデータ形式のファイル でも、Windows エクスプローラで「プログラムから開く - 花子 2007 プログラム」で開こうとすると、花子でエラーが出る

花子 2007 の中から挿入・読込できる JPEG, GIF, PNG, TIFF, WMF などのラスター系ファイル 形式は、Windows エクスプローラから開けるはずであるが、現状ではできないようである。(なお、この制限がありながら、同種類のファイル は、Windows エクスプローラから花子へドラッグアンドドロップができる。)これらのファイルは、花子は開こうとするが、「読み込めない形式のファイル です」とエラーが出てしまう。

図面を開いて画像を挿入するという手間を省きたいときに、エクスプローラからこのようにして、花子が一応認識するファイル形式を、直接エクスプローラから開けたら便利だと思う。(例えば、TXT 形式のファイルをエクスプローラから直接開くときに、花子はそのファイルの含める文字列を、花子の文字入力ウィンドウに読み込めたら、時間の短縮につながる。)また、類似したトラブルで、「ファイル - 開く」において「ファイルの種類」を「すべてのファイル」にして JPEG ファイルを開こうとすると、同様のエラーが出る。

本来は花子が取り扱えるデータ形式なのに、手法によっては「読み込めない」とエラーが出るのも、少し不可解であると考える。

参考までに、Adobe Illustrator CS, Microsoft Visio 2003 と Fireworks 8 はそれぞれ、このようなファイル の開き方に対応している(但し、Fireworks 8 は WMF の読込に未対応)。

是非、その機能性を花子にも設けてほしい。

1.3 「ファイル 挿入読込」のダイアログボックスには、Windows エクスプローラの「縮小版」の表示オプションがない

1.4 花子の「開く」「保存」などのファイル ビューアは、「ビューア付き一覧」モードにおいて、大きい写真を縮小表示しないため、枠に入りきれないことがよくある

デジカメで撮った写真を連続してプレビューしたい時には、とても不便であるので、自動縮小表示などの機能を設けてほしい。

1.5 「ファイル 挿入読込 - 重ね合わせ」のファイル メニューにおいて、多くのファイル 形式の画像ファイル が読込できるのに、「ビューア付き一覧」では表示されない

「ビューア付き一覧」で全く表示できない、あるいは正常に表示できないファイル 形式…JMG, PNG, EMF, ODG, EPS, SVG, PPT

1.6 花子フォトタッチ3で DPI 値を設定し、JPEG ファイルで保存して再読込後、花子フォトタッチ3上、DPI 設定が 180dpi × 180dpi と表示され、リセットされてしまう

当方の知識不足かも知れないが、花子フォトタッチ3で新規ファイルを開き、DPI を設定して JPEG ファイル として閉じて、また再度読み込むと、DPI 値が 180dpi × 180dpi (花子フォトタッチの初期値?)に返されていることが確認できた。しかし、同手順を Adobe Photoshop 7 で行ってみると、100dpi、つまり設定したままになっていることがわかる。

また、同手順で花子フォトタッチ3において DPI を設定して PNG として保存したファイルは、DPI が正確に保存され、Photoshop で開いても DPI は 100dpi との設定値になっている。つまり、JPEG 形式に関しては、Adobe Photoshop では DPI 値が保存できるに対し、花子フォトタッチ3が DPI 設定を保存できないようである。

元々、ピクセルサイズと DPI との関係が多少分かりづらい部分があり、当方として完全に理解できていないかもしれないが、花子フォトタッチ3の動作不良であれば、修正して頂きたいし、またこちらの操作ミスや知識不足であれば、教えて頂きたい。

2 画像読込・出力とイメージ関係に関して

2.1 画像枠を花子に挿入するとき、「自動」の DPI 設定は、元のイメージとは無関係な値で表示してしまう そもそも「自動」が何を基準にして出ているのか、見当がつかないが、画像枠の挿入時に、画像が荒くならないことを防ぐため、まず元のイメージファイル の DPI (解像度) 設定を正しく表示するようにしてほしい。

なお、これは本ドキュメントの 2.4 と関連しているので、そちらも合わせて確認をいただければ幸いである。

2.2 「Web 画像の切り出し」は、比較的に小さいポイントサイズの文字列をアンチエイリアスで出力せず、ギザギザのまま出力してしまう

参考までに、選択中の文字枠を「イメージ編集」で花子フォトタッチに持って行くと、アンチエイリアスがかかる。しかし、ウェブ画像の切り出しは、小さい文字にアンチエイリアスがかからないようなので、「ウェブ画像の切り出し」の出力時に全ての文字にアンチエイリアスを適用するかしないかの設定が欲しい。また、「ウェブ画像の切り出し」と「イメージ編集」は、なぜ文字枠の扱いに違いがあるのか、統一性がないように感じたので、合わせて検討を頂きたい。

2.3 「Web 画像の切り出し」は、現在選択中のプレーンしか出力せず、他のプレーンが無視される

「イメージ編集」(選択した図形をラスタ化して花子フォトタッチで編集)も、現在選択中のプレーンのデータしか出力しないため、ウェブ画像として保存したいときは、プレーンをわざわざ統合する必要がある。これは、面倒であるので、画像出力時にどのプレーンを対象とするか、ユーザーに選択肢を与えるか、すべてのプレーンが出力されるのか、それとも表示中のプレーンしか出力されないのかのオプションがほしい。

2.4 花子には、ピクセル単位による図面サイズの設定がない

まず他社製品の対応状況として、Visio 2003, DrawGraphic2 や OpenOffice Draw 2.2 のような、元々純粋なドロー系アプリケーションとして据えられた製品には、図面のサイズを mm, cm, in のような単位で設定することはできるが、ピクセル単位の図面サイズ設定には対応していない。

また、花子 2007 の場合、確かにドロー系のソフトではありながら、アドビ社の Illustrator やコーレル社の CorelDraw のように、図面の一部または全部を、ウェブ画像として出力することが可能であり、ウェブ用の部品やホームページの作成に役立てる、印刷の用途を超えた機能がある。しかしながら、図面の寸法単位 (mm または in) とウェブ画像出力単位 (ピクセル) には差異があり、またこれにより、花子の図面から正しいサイズで Web 出力できない場合もある。(報告済み)

これを解決するためには、花子の図面設定には、まず・・・

DPI の設定値を追加して頂けると、ユーザーが計算すれば mm または in 単位からピクセル単位へ、換算して計算できる。

しかし、いちいち計算させるのはユーザーに負担をかけてしまうため・・・

そもその画面サイズ単位を mm と in だけでなく、ピクセル(px)単位で設定できるようにして欲しい。

すでに花子のようなベクトル/ラスター系の総合グラフィクスアプリケーションである他社製品、Illustrator、CorelDraw や Fireworks には、このように図面(キャンバス)のサイズがピクセルで指定できるため、ウェブ画像出力作業には大変役に立つ。

これにおいて、花子はそれらとの差が後もう少しで埋められそうな感じがして、是非とも、花子にも、上記のと を実現してほしい。

3 文字入力ウィンドウ・文字関係機能について

3.1 「文字スタイル」のダイアログボックスの「フォント」タブ内、また「文字属性」のダイアログボックスの「飾り」タブ内に、現在使用中の文字色の RGB 値表示を追加してほしい

図形の場合、「図形属性」で線種や塗りの色を確認できることに対して、まだ文字色について RGB 表示がない。ウェブ用に部品を作成するとき、また類似した色を見分けたい時に役に立つと思うので、文字色に関しても表示を追加して頂きたい。

基本的に、カラーパレットの色表示オプションよりも、各ダイアログボックスの色表示オプションのほうが少ないようである。例えば、カラーパレットでは、「カラーパレット」(アイテム小+大)、「カラーマップ」(プレビューあり・なし)という選択肢があるに対して、「文字属性」や文字スタイルのダイアログボックスにはカラーマップのプレビューオプションがなく、またカラーパレットをこれらのダイアログボックスが開いている間、切り替えることができないのである。画面のスペースやレイアウトの課題はあるかと思うが、もう少し、ダイアログボックスとパレットの機能性について、オプションを統一して頂けたら、使い勝手がより一層よくなると考える。

3.2 文字入力ウィンドウを最小化し、画面の通常表示モード(表示-画面表示切り替え-通常表示)に切り替えた場合、文字入力ウィンドウを開くためのボタンがなくなり、文字入力ウィンドウ自体が開けなくなる

3.3 アウトライン化した文字列の「拡大率」は、アウトラインに反映されない

「文字属性」のダイアログボックスにおいて、選択中の文字列の縦拡大率を100%以外の値に変更した上で文字枠をアウトライン化するとき、縦拡大した文字の拡大設定が失われ、100%縦拡大の設定でアウトライン化される。

3.4 テキスト枠を回転したとき、文字にギザギザが見られ、滑らかではない

以前にも要望をしたが、花子 2007 はまだこの点において改善がなされていないようであり、残念で

ある。

確かに、花子は価格的にもいわゆる「重量級」のドロー系ソフトではないので、表示関係は本格的なドロー系ソフトやDTPアプリケーションと比べてはならないと理解している。しかし、花子で入力した文字枠を回転したとき、字つぶれがかなり目立つのであり、また「Web 画像として切り出し」の機能を使用するときにも、字つぶれがそのままなので、挫折感があることは否めない。

花子 2007 は、アンチエイリアス機能が用意されており、曲線やベクトルがとても鮮明かつ美しく表示できるのに、回転した文字枠が他社製品と比べてこれほど劣ることは、不思議である。また、「JS フォントエフェクトツール Ver2.3」で文字を入力・回転して花子に挿入した文字は、ビットマップデータでありながらなめらかに表示されるにもかかわらず、花子本体の文字描画機能は、回転した文字を上手に表示しないようである。

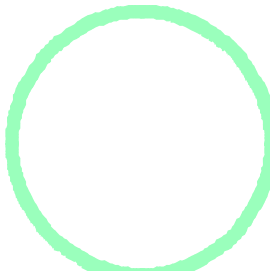
これは現状の花子の表示においてもっとも残念な点の一つだと考えるので、修正して頂くことを希望する。

3.5 文字列を選択して CTRL+U(アンダーライン)を行うと、下線の色が選択中の文字列と異なることがある

おそらく、履歴で下線の色が決まるようであるが、選択した文字列と合わない色ことがあるので、わざわざ色を変更しなければならないことがよくある。(下線色をあえて文字色と違う色にする場合も認めるが、そのようなケースは比較的少ないと考える。)できれば、下線色の設定が選択中の文字列と同色で表示されるよう、修正を希望する。

3.6 「文字枠図形」に連動している文字枠内の文字が、図形がはみ出さないようオプションがほしい

「文字付き図形」の文字枠は、図形に連動しているものの図形の枠からはみ出たりすることがある(特に円や四角形でない図形の場合、図 1 に参照)。自動的に図形内に文字を収めることができない。現状では、「文字付き図形」パレットで「図形内で文字を折り返す」ように設定できるが、この例のような図形は、厳密に言うと図形内に文字が収まりきれないことがある。



この文字列は、図形枠からはみ出てしまう。

図 1

これは、現状の花子の制限だとは認識しているが、ニュースレター、社内報などの簡易印刷のレイアウトの場合には、文字付き図形に連動している文字枠の文字が、図形の外枠からはみ出ないようにするオプションもあると、よりいっそう、レイアウトの可能性と思い通りの表現ができると思うので、是非とも、検討して頂きたい。

3.7 花子の文字枠を入力するときに、文字枠スタイル設定によってはハンドルが非表示になり、リサイズができない

この件に関して、以前にお問い合わせをし、ジャストシステム障害承り窓口から回答を頂いたが、こちらの意味が伝わらなかったようなので、改めて説明する。

| | <u>選択したとき</u> | <u>入力するとき</u> |
|-----|---|--|
| 固定 |  |  |
| 行自由 |  |  |
| 自由 |  |  |

上記の図で確認して、下記の課題があると考えられる。

文字スタイルが固定、行自由または自由のどちらであっても、文字枠を選択しただけではどの設定になっているのか、目で確認できない。

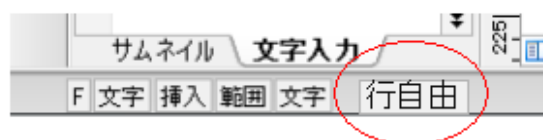
文字枠をダブルクリックしなければ、ハンドルを使ってのリサイズ操作ができない

文字枠の設定が「固定」になっていても、左側にはハンドルがないため、左方向に文字枠を伸ばすことができない

文字枠設定が「自由」になっている場合、ハンドルが全くないので、どのようにテキストボックスをリサイズできるか困惑することもある

ちなみに他社製品に関していえば、文字枠を選択しただけで、その時に表示されるハンドルをクリック&ドラッグして、文字枠(テキストボックス)を自由にリサイズできることが一般的である。調査した結果、Illustrator CS, Visio 2003, CorelDraw X3, OpenOffice Draw 2.2そして Fireworks CS3 も、上記 と に対応している。花子があえてこれらと異なる動作をすることは、なにか特別な理由はあるのか判断できないが、一般的ではないため、花子の現状の機能をより理解しやすくするためには下記の改善策を提案したい。

文字入力スタイルの「文字枠の領域」モードを、ステータスバー、またはカラーパレットの「文字」タブで表示し、切り替え可能にする。



文字枠スタイルが「固定」または「行自由」の場合に、文字枠に左側ハンドルも表示する。

4 他形式ファイル ・ データ形式の変換と表示について

4.1 PowerPoint 2003 から箇条付きのテキストボックスを花子に貼り付けたときに、ピュレット(ポチ、四角など)と文の間に、PowerPoint のテキストボックスになかったスペースが空いてしまう

4.2 PowerPoint のように、図形に画像の背景は設定できないので、追加してほしい

現状では、花子は PowerPoint のオートシェープの背景画像を表示しないが、背景画像が設定できると、表現の可能性がぐんと広がると考える。

5 花子フォトタッチについて

5.1 花子フォトタッチで作成した「レイヤー」構造は、花子本体で無効になってしまう

花子でイメージ枠を作成し、それをダブルクリックして花子フォトタッチで起動して編集して、また閉じて花子に戻ると、せっかく作り上げたレイヤーは、全部フラットの構造(統合レイヤー、つまり背景のみ)に統合されてしまう。このような制限があって、下記の課題があると考えられる。

ユーザーが花子フォトタッチで、意図的に作成したレイヤーが、花子フォトタッチを閉じて花子に戻ると統合されてしまうことは、何の前触れも通知もなく、不親切である。

レイヤーで透過部分を設定した場合は、花子に戻ると失われる。これも、前ぶれも通知も、何もない。

花子フォトタッチで設定した透過の部分が、花子に戻ると白色に変えられてしまうため、せっかく花子フォトタッチで組んだ透過性は、この工程では花子の図面では生かせない。(透過 PNG や GIF を花子の図面に画像として読み込む方法はあるが、通常の「花子フォトタッチの起動」やイメージ枠をダブルクリックすることでは、透過部分は保護できない。また、イメージ枠に右クリックして透過色の設定を行うこともできるが、この方法の欠点としては そのイメージ枠全体に対しての透過色しか設定できず、レイヤーごとの設定は行えない、また スムージング機能がないため、ギザギザが目立ち見栄えが悪いことがある、といった難点がある。以上をふまえて、花子 花子フォトタッチのお互いとのデータのやりとりにおいて、レイヤーと透過性が保護されるよう、改善をしていただきたい。

5.2 花子フォトタッチのバラバラのパレットを、クリップウィンドウなどの工夫をして効率のよい場所に納めたい

花子本体にはクリップウィンドウがあって、パレットを納めるには便利な工夫だと思う。しかし、花子フォトタッチに関しては、パレットがバラバラであり、場合によっては 5 つも 6 つものパレットが画面で散らばっている。

これを改善するために、花子フォトタッチにおいても、クリップウィンド

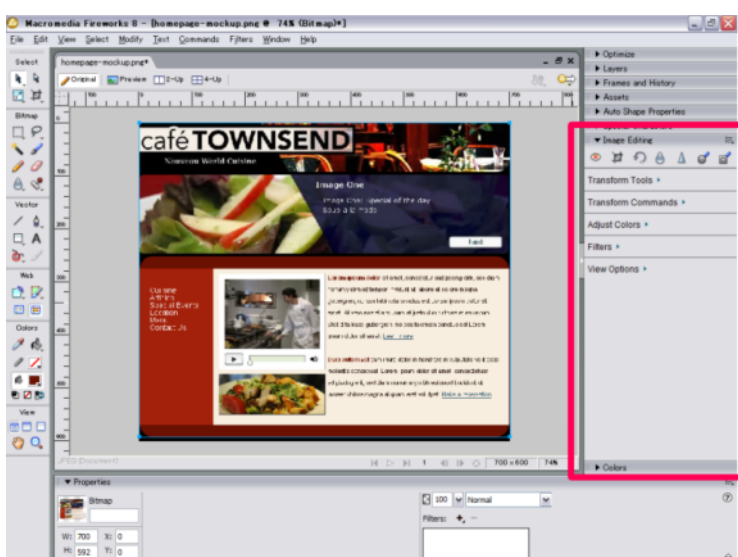


図 2 : Fireworks 8 (英語版) の画像編集サイドバー機能の例

ウのような機能でパレットが一カ所に納められるような機能があれば、より効率のよい作業ができると思う。

納められそうなパレットは、「設定」、「カラーパレット(基本色)」、「レイヤー」、「効果」、「ツール」と「座標情報」である。花子 2007 のように、クリップウィンドウの別々のタブにしてもよいと思う。

また、よく使用する「画像」メニューの項目だけでなく、そのオプションも、パレットという形で見せたら、便利だと思う。たとえば、「写真調整」の新パレットには、「明るさ」「コントラスト」「彩度」「色相」とプレビューのサムネールを、一つのパレットに納めると使いやすくして便利になる。Fireworks 8、Microsoft Office Picture Editor にもこのような工夫が施されているため、是非、検討して頂きたい。

5.3 花子フォトタッチは、マウスホイールによるズーム機能がない

花子 2007 をはじめとするたくさんのグラフィクスアプリケーションには、マウスのセンターホイールを回すことによって、表示中のキャンバスや図面を拡大/縮小表示ができるのであるが、花子フォトタッチ3には、その機能性がないので、ズーム操作はキーボード、または画面下部の表示倍率タブで行うしかなく、不便である。Microsoft、Adobe、Corel 製品はどれも、この機能が一般的であり、またオープンソースの OpenOffice Draw もこの機能があるので、花子フォトタッチにも、追加して頂きたい。

6 カラーパレット関係について

6.1 カラーパレットの左上のアイコンをクリックして「カラーパレット切り替え」を選択しても、最近使ったカラーパレットは一つしか表示されず、すべてのカラーパレットの中から一つを選ぶことができない。

細かいことであるが、「カラーパレット編集」をクリックして「パレット名」を選んで閉じるという手順で行わなければならないようなので、あまり使い勝手がよくないと感じた。カラーパレット内に、使用パレット名を選択できるドロップダウンメニューがあれば、どのパレットを使っているか、一目瞭然だと考える。

6.2 「編集」 - 「属性の置換」ダイアログボックスの「属性置換(線種)」では、「置換 | 線色」のカラーパレットは花子 2007 で現在使用のパレットとなっており、ダイアログボックス内で変えられず、パレットにない色も選択できない。

また、RGB 値で類似した色を見分ける方法もないため、不便だと感じる。

6.3 カラーパレットのグラデーション設定は、大変である

以前にもこの件について要望をしたことがあるが、残念ながら花子 2007 においてこの点は改善されていなかった。今回は改めて+ で検討をお願いしたい。

まずグラデーションスライダーという機能自体は、根本的に素晴らしいアイデアであり、Adobe Illustrator や Fireworks をはじめとするプロ級のドロー系ソフトにはされている。

しかし花子について言えば、グラデーション塗り設定においてこれら二つの製品と異なる点そして劣る点は、下記のとおりである。

スライダーは小さく、またコントロールポイント(スライダーの移動が可能なクリックポイント)が小さいため、設定の矢印()を右クリックで削除しようとしても、うまく削除できないことがよくある。

同スライダーを移動すべく左クリックしてドラッグするときに、ぴったりと のコントロールポイントに当たらなければ、スライダーの移動ではなく、複製 + 移動になってしまう。

スライダーの上に値があるが、スライダー領域の面積が狭いため、値と値が重なってしまい、読めなくなることがあるため

この課題を解決するために、下記の解決案がある。

スライダー自体を大きくする。(このような形でも良いのでは?)…

カラーパレット(パレットが収納されたときに、クリップウィンドウ)を横に広げると、グラデーションバーを可変にする(現状は、バーの幅はパレットに連動しない)

色の追加操作をクリックではなく、CTRL + クリックに変更する

値をグラデーションスライダーの上に表示する場合、値が重なって表示しないことを最小限にするために、グラデーションスライダーの左から右への高さを、低い 高いと表示する(図 3 参照)

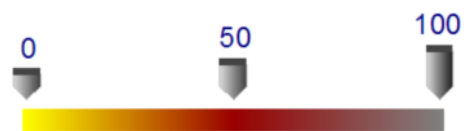


図 3

6.4 カラーパレット内のカラーアイテムを自由に並び替える

機能性を設けてほしい

Adobe Illustrator や CorelDraw では、カラーパレットのアイテムを自由に並び替える機能がある。これは、よく使う色を手動でグループ化するために有効な方法だと思うので、是非とも、そのような機能を花子にも検討していただきたい。

7 その他

7.1 「ツール - 割付 - キー」のダイアログボックスにおいて、「一覧」の領域にある項目が長い場合、画面の右側にはみ出て見えなくなってしまう

このダイアログボックスの高さ・長さ調節ができるよう、設定をして頂ければ、「一覧」にある項目が全部見えるようになるのであろう。

7.2 花子のヘルプコンテンツを、クリップウィンドウ内で閲覧できるようにしたい

現状では、花子のクリップウィンドウの「ブラウザ」パレット内の、アドレスバーに花子のヘルプファイルの URL を入力すると、ブラウザパレット内にヘルプのコンテンツが閲覧できる(図 4 を参照)。しかし、大元の目次がなく、完全な仕組みではなく、あくまで裏技的な使い方である。

また、ガイドインフォというのは現状の花子 2007 に用意されており、ツールの使い方のワンポイント説明が参照できるため、便利だと思う。しかし、メニューアイテムの使い方や、Tips など、花子の図面で作業を行いながら見る仕組みがなく、こういった場合には F1 キーでヘルプを別ウィンドウで立ち上げて、花子とヘルプウィンドウのウィンドウ切替というやり方をしなければならない。またこれには課題があり、花子のヘルプ画面が必ず前面になるよう設定されており、花子とヘルプの画面を切り替えるには、わざわざヘルプの画面を最小化しなければ

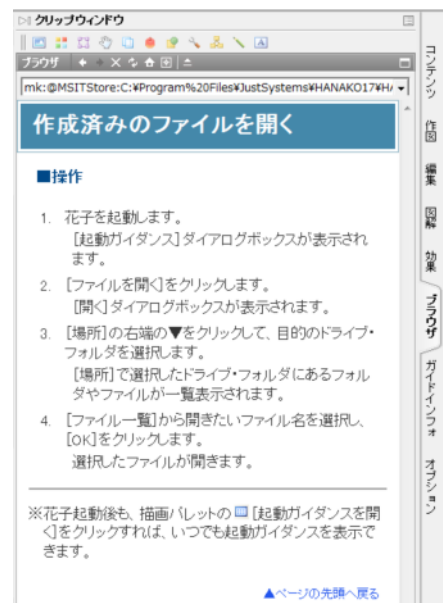



図 4

ばならない仕組みになっている。

これを改善するために、クリップウィンドウ内に花子のヘルプ画面が容易に閲覧できる方法を設けて頂ければ、使い勝手が確実によくなると考える。(Microsoft Office XP または 2003 の Office 製品のヘルプの仕組みを参照。)

もしこれが難しいようであれば、現状の花子のヘルプ画面が必ず前面ウィンドウとなるような設定を、ユーザーに解除できる方法を与えて頂ければありがたい。

7.3 「ブレーン」パレットにあるブレーン項目は、選択を外さなければ非表示・表示の切り替えができない

花子の「ブレーン」のパレットにおいて、選択中のブレーンは非表示できない。非表示にするには、ほかのブレーンを選択してから、非表示したいブレーンのチェックを外す手間がかかる。(ブレーンのロックとロック解除  も同様に、選択中のブレーンには無効になっている。)

Fireworks 8, Illustrator CS, CorelDraw 12 などの同系統のソフトには、このような制限がないのに対して、花子のこういった制限は少々厳しいと思った。

できれば、この点を改善して頂きたい。

7.4 アンドックした描画ツールボックスを横にのばして、花子を終了してまた花子を再起動したら、描画ツールボックスが縦位置に戻ってしまう

作業に特に大きな支障はないが、「図形選択シンプル」のツールボックスをアンドックして横に伸ばして花子を終了したあと、再起動しても横のままなので、描画ツールボックスのビヘイビアは違うので、少し気になるくらいである。どちらかといえば、再起動時にツールバーをまた横に伸ばすことがちょっとした面倒に過ぎず、些細なことかもしれない。ただ、アンドックして横に伸ばし、さらに画面下部に近いところに置かれた場合、花子の再起動時に描画ツールボックスが縦に戻されるため、ボタンが隠れてしまうことはあるので、再起動時の描画ツールボックスのビヘイビアを他のツールボックスと統一したほうが、いいのではという見方もあろう。

7.5 「分散・密集」のように、花子で選択した図形の個別のサイズや属性を変えないで、配置だけを指定した中心点から外へ散らばるような機能を追加してほしい

たとえば、取説の構成部品の分解図、また円グラフなどを効果的に見せるような効果にはなるかと想像するが、下記 URL にある PDF (サンプル) のような機能があれば、かなり応用力の高い機能にはなると思う。

<http://www.jchap.net/hanako/pdf/bunsan-misshuu-example.pdf>

花子 2007 は、ベクトル系のフィルター (変形の機能) が 5 種類ある (移動 / 複写、拡大 / 縮小、回転、せん断及びミラー) が、「分散・密集」のような機能を追加していただくと、クリエイティブの可能性が広がると考える。

7.6 図形単位の属性ロック機能オプションを増やして欲しい

現状では、図形単位でその図形を編集不可能にする「図形ロック」機能は用意されている。しかし、Visio 2003 の「保護」機能のように、図形の幅や高さのみを固定して、変更できない状態にすることも、容易に想像できる。特に、本ドキュメントの 7.5 で提案したような場合、個々図形の幅と高さのみをロックし、「変形 - 拡大」を掛けると、個々図形のサイズを変えないで位置だけを相対的に調整できる、というメリットが生じるのであろう。



図 5 : 図形情報のロック機能 (機能追加後のイメージ)

7.7 「交点で塗りつぶす」と「交点で切断して削除」は、「塗りなし」の図形にしか使えない

これを使用したいときに、塗り設定を全部「なし」にしなければならないため、大変不便だ。「透明」や他の塗り設定になっている図形に対しても、使えるようにしてほしい。または、図形の演算 (Visio, CorelDraw, Illustrator, OpenOffice Draw や DrawGraphic2 などにある、図形操作機能…「溶接」「型抜き」「切り出し」など) を可能にしていきたい。

以上